

## B T C からのお知らせ

### 電動式ゲート装置の設置

軽種馬育成調教場の利用馬は、場内の厩舎に滞在するか、毎日日帰りで馬運車または直接歩いて通ってきて利用していただいています。

今回は、その中でも約7割の馬が利用している、近隣牧場から歩いて出入りできるゲート（5カ所）の仕組みについて紹介します。

従来のゲートは、騎乗者等が手で柵を押して開閉する方式でしたが、手動による柵の開け閉めの煩わしさがあり、改善を求められていました。

そこで、平成19年9月からB T C職員が低コストな装置（太陽電池式）の設計・開発に取り組み、12月より第1ゲートで試験運用を開始しました。その後、可動部分の改良を行った後はトラブルもなく評判が良いので、平成20年10月にはさらに第2・3ゲートにも設置しました。これにより、本格的な実用化が図られましたので、その概要について紹介します。

この電動式ゲート装置は、ソーラーパネルで発電した電力またはバッテリーに蓄電された電力を利用しています。騎乗者等がゲートのバー（竹製）の前後2カ所に設置されたコイル型スイッチ（約10cmの棒、高さ230cmの位置）を手などで軽く触れると、電動シリンダー（アクチュエーター）によりバーが上がり、もう一度どちらかのスイッチに触れるとバーが下がるという仕組みによって、ゲートを開閉するようになっています。装置の配置状況（一例）は図に示したとおりです。

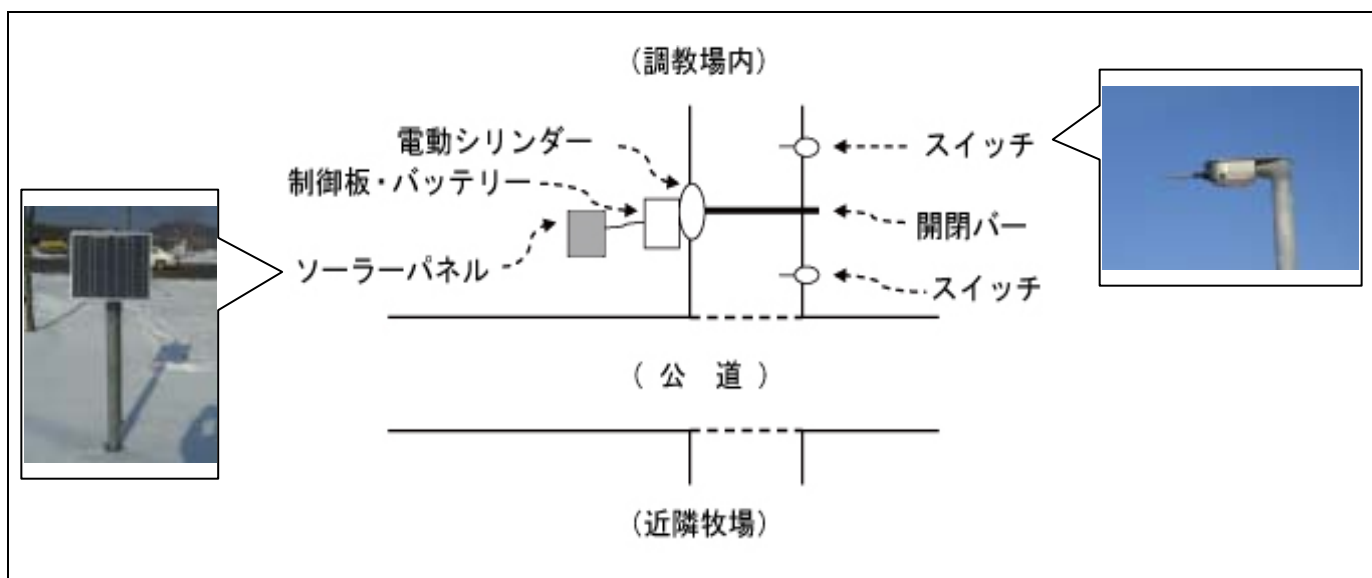
従来の手押し式開閉柵よりスムーズに出入りできるようになり、利用者の方々からも好評です。今年度中には残り2カ所にも設置予定です。



馬が出入りしている様子



開閉バーと制御盤・バッテリー・電動シリンダー等



電動式ゲート装置の配置状況（模式図）

## 2008年度軽種馬育成調教場の運営・管理

財団法人軽種馬育成調教センターでは、利用者の皆様が円滑に育成馬の調教を行えるように適正かつ効率的な運営・管理を目指しており、2008年度においては、日々のメンテナンスを十分に実施するとともに、各種作業を実施しました。

2008年度に当財団で実施した主な作業は以下のとおりです。

- 屋内トラック馬場のクッション砂の入替え並びに出入口アスファルト路面へのゴムチップ敷設
- 屋内直線ウォーキングコースの新材ウッドチップの補充
- 屋内坂路の帰り馬道の新材ウッドチップの補充
- 1,600トラック馬場のクッション砂補充
- 準備馬場のバーク補充

第2及び第3入場ゲートの自動化（第1ゲートは2007年秋に試行）

また、JRA日高による外注工事として以下の工事が実施され、

- 1,200直線砂馬場の路盤改造（火山灰路盤から砕砂路盤へ）及びクッション砂の入替え
- アスファルト除去による馬道の改善（第2ゲートから屋内直線南ギャラリー間）

これに伴う補佐的な作業も実施いたしました。

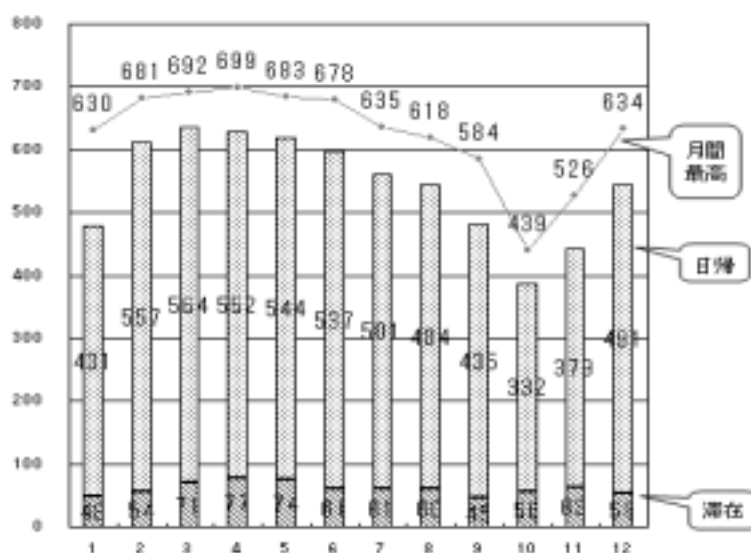
さらに、2年間で養生期間に充てたグラス馬場2,000m走路は、試走会を実施した上で、7月に開場しました。

こうした中、年間の利用頭数は169,701頭（前年比108%増）、1日当たりの平均利用頭数は543頭（前年比108%増）と、近年の横ばい傾向を脱し、大幅に増加しました。1日の最高利用頭数は4月1日の699頭で、開場以来の最高利用頭数となりました。

歩いて当施設を利用できる近隣育成牧場の馬房数は年々増加しており、754馬房となっております。

### 2008年度利用状況

月別1日当たり平均調教頭数及び最高頭数



軽種馬育成調教場の利用に関する詳細は下記にお問い合わせ下さい。

BTC日高事業所業務課 TEL 0146-28-1001

平成21年5月12日（火）開催予定の「ひだかトレーニングセール（主催J Aひだか東）」への  
上場にはBTCの利用登録が必要です。